



## ニッポノホン蓄音機

NIPPONOPHONE

朝顔型ホーンがついた<sup>えんばん</sup>円盤式<sup>ちくおん</sup>蓄音機<sup>き</sup>です。エジソンの蓄音機の発明以降、<sup>おうべい</sup>欧米では各種蓄音機の製造が盛んになりました。日本では明治43年(1910)から日本蓄音器商会(日本コロムビアの前身)が「ニッポ<sup>はんばい</sup>ノホン」を販売しました。

This is a disc-type phonograph with a morning glory-shaped horn. After Edison's invention, various types of phonographs became popular. In Japan, the Nippon Phonograph Company (the predecessor to Nippon Columbia) began selling the "Nipponophone" in 1910.

1910 ～

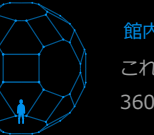
800 × 650 × 600mm



館内企画展アーカイブ

# バーチャル展示室

THE VIRTUAL  
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** › <http://www.tcm.it.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介しますデジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



**トヨタ産業技術記念館**

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.